

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40 41	【食事】 ・食材の確保が時勢もありあり課題が残る。 ・献立に対してどれだけの量で作るか考えるのが難しい場合がある。	・負担少なく食材の確保が出来る。 ・ある一定の食事の提供を協力しながら行う事が出来る。	・試行しながら進める。 ・助言・相談等話し合いを行いながら進めていく。 ・強みの把握を行いながら強みをいかして協力しながら進めていく。	6ヶ月
2	6 7	【精神面】 ・重度のご入居者もあり、限られた人数のスタッフでの対応になる中で精神的に追い詰められがちで、それが、ご入居者に言葉として反映されがちである。 ・身体・精神共に支える必要のあるご入居者が多数であり、IADL支援にシワ寄せ委がきてしまう。	・ホーム全体での支えあい・話し合いを行いながら共同にご入居者が穏やかに楽しく過ごせる様な支援を継続できる。	・支えあい・話し合いを続ける。 ・ご入居者の様子を共に働くスタッフの様子を見ながら共同していく。	1ヶ月 そして継続
3	23 36 39 48	【活動】 ADLや生活支援に追われてしまいアクティビティの時間の確保が十分に出来ていない。 活動に至らなくともご入居者との会話の時間の確保が少ない。	・余暇活動の必要性を認識でき、取り組みを開始できる。 ・日課としてのアクティビティを実施出来るようになる。 ・定期的なアクティビティも行う事が出来る。	・ご入居者と日常の中の会話を意識して行う。 ・アセスメントやカンファレンスを通して、家事支援以外でもできる活動について考え実施に結びつけていく。 ・アクティビティを行う効果も考えながら実施の頻度を増やしていく。	12ヶ月
4	2 39	【交流】 ・地域や複合施設の他部署との交流が出来ていない。(要因として時勢もある) ・スターツコミュニティの中にある施設のため、特性を活かしていく必要がある。	・外部との交流の機会が確保できる。	・時勢落ち着いてから再考察。 ・日常から地域の方々との交流を行って行く。 ・誕生日等で周囲の資源を利用していく。 ・ホーム内でも身だしなみを意識しながら過ごす。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。